

I 宮城県の国際化施策

(4) イタリア共和国ローマ県との交流実績

平成26年3月末現在

平成9年 (1997)	6 本県出身でイタリア在住の芸術家武藤順九氏を通して、ローマ県の本県に対する交流の意向が伝えられる。 7 宮城県議会議員団欧州視察調査団が知事の親書を携え、ローマ県を訪問。
平成10年 (1998)	2 宮城・ローマ交流倶楽部設立準備委員会が友好県調印等に関して提言。 5 宮城ローマ友好促進議員連盟、宮城・ローマ交流倶楽部が発足。 5 ローマ県幹部及びローマ商工会議所の訪問団が来県し、ローマ県文化局長と本県総務部長の間で経済・文化交流促進に向けた覚書に調印。 7 本県訪問団(団長:総務部長)がローマ県を訪問。
平成11年 (1999)	1 本県環境生活部次長、宮城県青年の翼等がローマ県を訪問し、知事表敬・協議等を実施。
平成12年 (2000)	3 仙台フィルハーモニー管弦楽団がローマ県主催の行事で、ローマ大学講堂において公演を行う。 3 宮城・ローマ交流倶楽部が、サッカー・空手・柔道チームを派遣し、交流試合等を実施。 7 ヴァチカン市国での支倉常長の追悼ミサに合わせ、「仙台開府四百年記念事業推進協議会」が「平成の遣欧使節団」をローマに派遣。 7 武藤順九氏の作品「PAX2000-風の環」をローマ郊外の「夏の離宮」に設置。 9 「芸術銀河2000オープニング・イベント」参加のため、ローマ県文化局長が来県。
平成13年 (2001)	1 ローマ県知事が姉妹県締結の希望を示し、本県知事の5月のローマ県訪問を要請。 5 宮城県知事がローマ県を訪問し、近い将来の姉妹提携に向けて努力する旨の覚書に署名。 6 宮城県議会において「イタリア共和国ローマ県との姉妹提携に関する決議」 10 ローマ県訪問団(団長:ローマ県知事)が来県し、両県知事が姉妹県締結に関する議定書に署名。
平成14年 (2002)	5 サッカーW杯に参加するイタリア代表チームの仙台キャンプに合わせて、カーサ・アズーリが設置され、本県の伝統芸能を披露する。 6 ローマ県訪問団(団長:ローマ県議会議長)が来県し、議長、武藤順九氏、知事による公開トークを開催。 6 泉セルバ「イタリアフェア」でローマ県との交流紹介パネル等を展示。 10 宮城県友好交流訪問団(団長:松木副知事)を派遣し、交流事業に合意。 10 交流事業担当者をローマに派遣し、交流事業の調整と情報収集、ネットワークの形成を行う。 10 宮城県庁18階において「ローマとの交流展」開催(～12/26)
平成15年 (2003)	1 第1回イタリア・ローマに関する勉強会開催。 4 宮城県産日本酒とローマ県産ワインをトータルでプロモーションするための「コンペ di Vino Romano」事業開始。 9 宮城県議会議員3名がローマ県を訪問し、ローマ県新知事に宮城県知事の親書を渡す。 10 「コンペ di Vino Romano」最終選考会 10 藤崎イタリアフェアにおいて「コンペ di Vino Romano」優秀作品を展示。 10 ローマ県主催観光ワークショップを実施(本県から観光関連業者等が参加)。 10 ワインの商品化及びH16度以降の交流事業に関する情報収集を行う(於:ローマ)。
平成16年 (2004)	1 第2回イタリア・ローマに関する勉強会開催。 3 駐日イタリア大使ヴォーバ閣下が来県し、経済・文化に関するミーティングを行う。 4 宮城・ローマ3周年記念イベントの一環として、三越イタリアフェアにおいて各種イベントを実施。 6 宮城県議会議員2名がローマ県を訪問し、ローマ県評議員との意見交換を行う。 6 イタリア貿易振興会ペーロ駐日代表同会の仙台アンテナオフィスの設置に向け関係機関へ協力を要請。 6 「ローマと宮城を繋ぐワインの誕生を祝う会」を実施。ワイン販売開始。 7 宮城県産業経済部次長がローマ県を訪問し、経済担当評議員と意見交換を行う。 7 宮城県議会議員5名がローマ県を訪問。ローマ県知事に宮城県知事の親書を渡し、ローマ県議会議長表敬とローマ県評議員との意見交換を行う。 9 宮城・ローマ3周年記念イベントとして、県庁18階の広報展示室で「宮城・ローマ友好交流展」(～10/29)を開催。 10 宮城・ローマ3周年記念イベントとして、講演会「島村菜津さんの語るローマ近郊の魅力」、セミナー「イタリア女性の今を語る」、料理体験「イタリア家庭料理を楽しむ」を開催。 10 宮城・ローマ3周年記念イベントの一環として、藤崎イタリアフェア、仙台市内のホテル協賛による「イタリアフェア」を開催。 10 国際交流課長等をローマ県に派遣し、交流事業の調整、意見交換を実施。 10 宮城スローフード協会等主催で、ローマ市、トリノ市において「日本酒セミナー」を開催し、宮城の地酒をPRする。
平成17年 (2005)	4 駐日イタリア大使ヴォーバ閣下が来県し、経済・文化に関するミーティングを行う。 9 イタリア貿易振興会仙台事務所がオープン。
平成18年 (2006)	2 姉妹交流記念イベントとして、宮城スローフード協会と共催でパネルディスカッション「イタリアとみやぎのスローフードの魅力」を開催。 2 交流事業担当者をローマに派遣し、交流事業の調整と情報収集、ネットワークの形成を行う。 10 宮城・ローマ5周年記念イベントの一環として、サンファン館開館10周年記念イベント、藤崎イタリアフェア、ダイエーイタリアンフェアでパネル等の展示を行う。

## I 宮城県の国際化施策

平成18年 (2006)	10	みやぎまるごとフェスティバルで県庁内に国際交流コーナーを出展し、ローマ県の姉妹交流をPRする。
	12	「国際協力のつどいin白石」において国際交流コーナーを出展し、ローマ県の姉妹交流をPRする。
	12	アクセルのイタリアフェアでローマ県との交流を紹介するパネル等の展示を行う。
平成19年 (2007)	1	交流事業担当者をローマに派遣し、交流事業の調整と情報収集、ネットワークの形成を行い、イタリア野菜の栽培についてローマ県ラディスポリ市から情報提供等の協力を得る。
	2	宮城・ローマ5周年記念イベントとして、シンポジウム「イタリアの食を宮城から」を開催(イタリア野菜に関する講演、パネルディスカッション)。
	4	プリマベライタリアーナとして、イタリア貿易振興会が日伊デザインセミナーを開催。
	6	プリマベライタリアーナとして、イタリア貿易振興会等が日伊ナノテクフォーラムを開催し、イタリア貿易省アゴスティーニ副大臣、イタリア貿易振興会バルマス駐日代表等が知事を表敬訪問。
	11	駐日イタリア大使館学術文化担当官モルテーニ氏が来県。副知事等を表敬訪問し、経済・文化に関するミーティング・視察を行う。
	11	イタリア大使館で行われた「イタリアの秋2009」の発表会に交流担当課長補佐が出席し、イタリア貿易振興会のバルマス駐日代表から次年度に企業ミッションを本県に派遣することを約束される。
平成20年 (2008)	2	交流事業担当者をローマに派遣。イタリア貿易振興会ローマ本部で本県のビジネス環境を紹介し、本県への経済ミッションの派遣に向け協力を依頼。
	6	イタリア貿易振興会の協力と本県の仲介により、ボローニャ「国際産業研究開発展」に東北大学がブース出展。
	9	ミラノ「ナノフォーラム」において、イタリア貿易振興会の協力と本県の仲介により東北大学の研究者がスピーチを行う。
	12	駐日イタリア大使ペトローネ閣下が来県。知事等を表敬訪問し、経済・学術・文化に関するミーティング・視察を行う。
平成21年 (2009)	2	「日伊ナノテクセミナーin宮城」をイタリア貿易振興会、仙台市、東北大、JETRO仙台とともに開催し、イタリア企業4社参加の下、プレゼンテーションや商談会等を実施。
	3	ローマ「ナノテク2009」に、イタリア貿易振興会の協力と本県の仲介により東北大学の研究者と本県企業が招待を受け参加。
	6	トリノ「ナノフォーラム」に、イタリア貿易振興会の協力と本県の仲介により本県企業が招待を受け参加。
	9	JETROの仲介により、本県と東北大学がピエモンテ州とトリノ工科大学とともに「日伊ビジネスグループ」に参加し、ナノテク分野を柱とする交流についての意見交換や、全体会議での発表を実施。
	10	「イタリアの秋2009」の一環として、宮城県美術館において「トリノ・エジプト展」を開催。
	10	駐日イタリア大使館モンティエ等書記官等が来県し、「トリノ・エジプト展」開会式への出席、県教育長表敬訪問の他、県内視察等を行う。